

森山通信「子育て支援、女性支援の取組み」号外！

●女性の視点を活かした防災対策推進

避難所の運営に関して、女性の安全・安心を確保するため、男女別トイレや女性専用の物干し場、授乳室など、女性専用スペースを設けることを要請。また、備蓄品に関しても、粉ミルクや紙おむつなどの乳幼児用品や女性用品などについても、あらかじめ一定程度の備蓄を促進しています。(H25年6月議会) 写真：会派で若葉区防災備蓄倉庫視察



●ワーク・ライフ・バランス推進

仕事と家庭生活の両立をさせるため、性別にとらわれない職域の拡大に積極的に取り組む市内事業者の登録制度の活性化を求めてきました。(H24年9月議会)



●多様な働き方の支援について

テレワーク促進等で労働環境改善を提案

仕事と育児・介護の両立ができるよう、パソコンや携帯端末など情報通信技術を活用し、場所や時間にとらわれない働き方が注目されています。千葉市において、在宅テレワークを普及促進させることで、市内事業者や市職員の働き方の改善を求めて参りました。(H26年12月議会)



●子育てコンシェルジュの配置

昨年 H25 年度に、モデル的に配置していた「子育て支援コンシェルジュ」が H26 年 10 月から各区の保健福祉センターのこども家庭課に配置されました。専門相談員が保護者の皆様からの子育て支援に関する相談に対応します。



●図書館の多機能化推進

子育て、教育、健康、医療、就職、起業など、地域の課題に応じた情報提供サービスに力を入れる図書館が増えています。本を貸し出すだけでなく、新しい公共の図書館の活用方法を推進してきました。(H26年6月議会) 写真：中央図書館・子育て応援コーナー



●JR千葉駅バリアフリーを要望

ベビーカーでもバリアフリーなペDESTリアンデッキを提唱。駅改札口に入らずとも、ベビーカーで、東口から西口に向かう経路が確保されます。(H23年6月議会)

写真：JR 東日本 HP より引用掲載

